

# 8-1 空港ではどんな職業の人が働いているのかな？

## 空港で働く人たち1

空港では安全・確実に飛行機を運航するために、様々な職員がそれぞれ専門的な仕事を行っています。実際に働く職員の仕事内容や、やりがいをご紹介します。



### パイロット

機長と副操縦士の2人1組で航空機を安全に目的地まで操縦します。フライト前に運航管理者と一緒に乗務する客室乗務員と打ち合せ、気象データや乗客数、空港の状態などを確認します。また、航空機の点検をしたり、コックピットに入ってから計器に飛行データを入力したりして安全・快適な飛行に向けて準備をします。飛行中は機長が操縦をし、副操縦士は管制官との通信や機長の補佐を行います。操縦技術を高める為に日頃から訓練を重ねることや体調を管理することも大切な仕事の一部です。

#### この仕事に就くには？

主に2つの道があります。1つは高校卒業後パイロットの養成機関である「航空大学校」に入学し、2年間訓練を受けた後、航空会社に就職し更に訓練を受けてパイロットになる道。もう1つは大学卒業後航空会社にある「自社養成パイロット」のコースに合格し訓練を経てパイロットになる道です。共に航空機の種類別に行われる国家試験に合格する必要があります。詳しくは国土交通省ホームページ参照 [http://www.mlit.go.jp/kokkasiken/pilot01\\_.html](http://www.mlit.go.jp/kokkasiken/pilot01_.html)

#### やりがい

コックピットから見える素晴らしい景色。悪天候やトラブルなど、様々な状況に対して冷静に判断し、乗客を安全に目的地に届けることができた時の達成感。



### 客室乗務員

客室乗務員の仕事は「機内サービス」と「保安管理」の2つに分けられます。「機内サービス」は、乗客に機内で安心かつ快適に過ごしていただくよう、気を配りながらドリンクの提供などを行います。「保安管理」とは、乗客の安全を守る業務です。緊急時(急病人への応急処置、悪天候時の安全確保、ハイジャックや緊急着陸時の乗客誘導など)には乗客の安全を守るため、迅速かつ適切に対応することが求められます。

#### この仕事に就くには？

特別な資格は必要ありませんが、各航空会社の採用試験に合格する必要があります。大学卒の採用も多いですが、客室乗務員になるための課程がある短大や専門学校からの採用もあります。採用試験には学歴以外にも、年齢や身体、居住地、TOEICのスコアなど、いくつかの応募要件があるので確認しておきましょう。また、接客のためのコミュニケーション能力も大切です。

#### やりがい

心を込めてサービスしたお客様から「ありがとう」「また乗るよ」といったお礼や励ましの言葉をもらうと嬉しいです。